

## 「令和5年青森県鉱工業生産指数年報」の概要

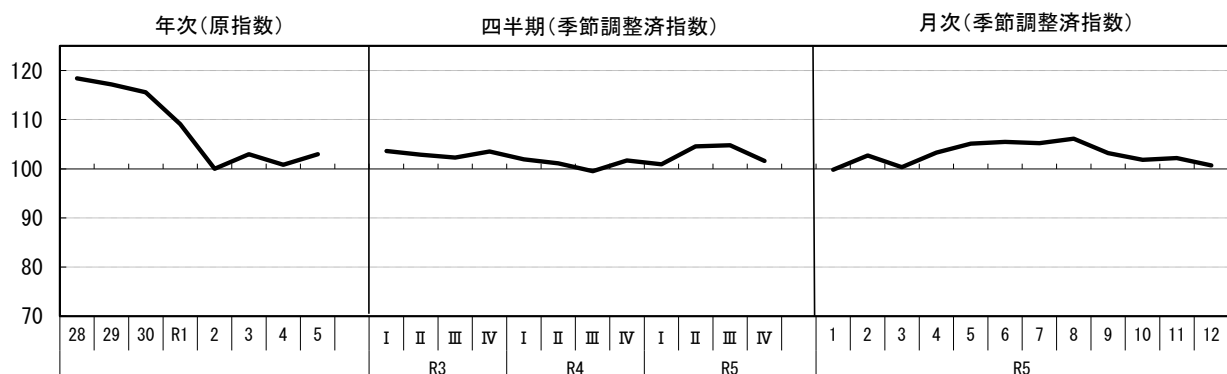
### 1. 概況

令和5年の青森県鉱工業生産指数は103.0(原指数:令和2年=100)で、前年比2.2%の上昇となり、2年ぶりに前年を上回りました。

四半期別(季節調整済指数)に前期比で見ると、第I四半期は0.8%の低下、第II四半期は3.7%の上昇、第III四半期は0.2%の上昇、第IV四半期は3.1%の低下となりました。

第1図 青森県鉱工業生産指数の推移

(令和2年=100)

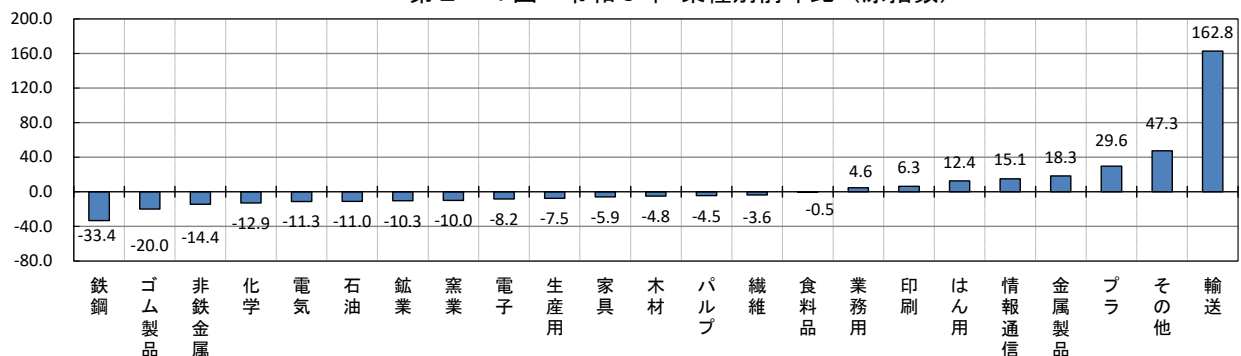


### 2. 業種別の動向

業種別にみると、23業種中上昇したのは、輸送機械工業(前年比+162.8%)、その他製品工業(同+47.3%)、プラスチック製品工業(同+29.6%)など8業種で、低下したのは、鉄鋼業(同-33.4%)、ゴム製品工業(同-20.0%)、非鉄金属工業(同-14.4%)など15業種でした。※皮革製品工業は対象事業所がないので業種から除いた。

変動に寄与した主な業種をみると、輸送機械工業、金属製品工業、プラスチック製品工業等が上昇に寄与した一方、鉄鋼業、非鉄金属工業、電子部品・デバイス工業等が低下に寄与しました。(第2-1図、2-2図、第1表)

第2-1図 令和5年業種別前年比(原指数)



第2-2図 令和5年 業種別寄与度（原指数）



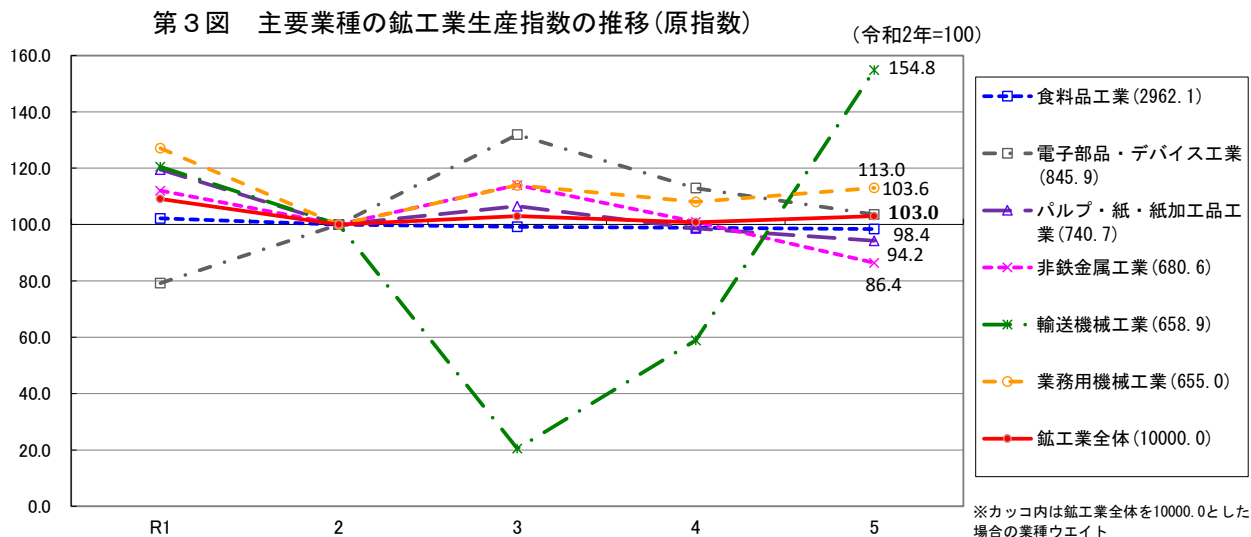
第1表 令和5年青森県鉱工業生産指数 前年比、寄与度等（原指数）（令和2年=100）

|              | 令和5年  | 令和5年<br>対前年比<br>(%) | 令和5年<br>寄与度 | 主な変動寄与品目          |                  |
|--------------|-------|---------------------|-------------|-------------------|------------------|
|              |       |                     |             | 上昇                | 低下               |
| 鉱工業          | 103.0 | 2.2                 | -           | -                 | -                |
| 製造工業         | 103.0 | 2.2                 | -           | -                 | -                |
| 鉄鋼業          | 63.6  | -33.4               | -1.74       | 普通鋼小型棒鋼           | フェロアラロイ等         |
| 非鉄金属工業       | 86.4  | -14.4               | -0.98       |                   | 亜鉛等              |
| 金属製品工業       | 118.2 | 18.3                | 0.63        | 鉄骨等               | 作業用工具等           |
| はん用機械工業      | 185.7 | 12.4                | 0.18        | 工業窯炉・同部分品等        | 精密板金等            |
| 生産用機械工業      | 85.5  | -7.5                | -0.09       | プラスチック用金型等        | FPD製造装置関係等       |
| 業務用機械工業      | 113.0 | 4.6                 | 0.32        | カメラ用レンズ等          | 事務機械器具部分品等       |
| 電気機械工業       | 106.9 | -11.3               | -0.77       | 分電盤等              | 小型電動機等           |
| 情報通信機械工業     | 85.4  | 15.1                | 0.05        | 有線通信機械器具          | カーナビゲーションシステム    |
| 電子部品・デバイス工業  | 103.6 | -8.2                | -0.78       | バイポーラ型半導体集積回路(IC) | コネクタ等            |
| 輸送機械工業       | 154.8 | 162.8               | 6.27        | 鋼船                | 自動車部品・附属品        |
| 窯業・土石製品工業    | 83.1  | -10.0               | -0.41       | 砕石(トン)等           | 道路用コンクリート製品等     |
| 化学工業         | 112.3 | -12.9               | -0.57       | その他の有機化学工業製品      | 医薬品原薬等           |
| 石油・石炭製品工業    | 77.5  | -11.0               | -0.06       |                   | 舗装材料             |
| プラスチック製品工業   | 146.4 | 29.6                | 0.39        | 電気機械器具用プラスチック製品等  | その他の工業用プラスチック製品等 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | 94.2  | -4.5                | -0.32       | 非塗工微塗工印刷紙         | 塗工紙等             |
| 繊維工業         | 97.8  | -3.6                | -0.09       | ニット製アウターシャツ類      | 織物製外衣            |
| 食料品工業        | 98.4  | -0.5                | -0.15       | 惣菜等               | 冷凍水産物等           |
| その他工業        | 111.7 | 6.4                 | 0.31        |                   |                  |
| ゴム製品工業       | 111.5 | -20.0               | -0.06       |                   | 工業用ゴム製品(ゴム製品全般)等 |
| 皮革製品工業       | -     | -                   | -           |                   |                  |
| 家具工業         | 97.1  | -5.9                | -0.03       | 建具                | 木製家具(テーブル類)等     |
| 印刷業          | 108.0 | 6.3                 | 0.11        | 凸版・平板印刷物          |                  |
| 木材・木製品工業     | 94.0  | -4.8                | -0.07       | 木材チップ             | 一般製材等            |
| その他製品工業      | 177.4 | 47.3                | 0.34        | わら工品等             | 看板等              |
| 鉱業           | 93.7  | -10.3               | -0.08       |                   | 石灰石              |

※ 業種別寄与度の計は小数点以下の取扱いにより対前年比とは一致しない。

※ 皮革製品工業は対象事業所がないため、分類名のみ計上している。

本県における主要6業種の動向をみると、輸送機械工業、業務用機械工業の2業種が上昇し、食料品工業、電子部品・デバイス工業、パルプ・紙・紙加工品工業、非鉄金属工業の4業種が低下しました。(第3図)



「令和5年青森県鉱工業生産指数年報」は、令和5年1月から12月分として公表した「青森県鉱工業生産指数(速報)」を、年間補正後の確定値により取りまとめたものです。

指数の作成に当たっては、令和2年を基準年(令和2年=100)とし、県内で生産される135品目を採用しています。

### 【用語の説明】

#### (1) 原指数

指数作成用データをそのまま指数化したもので、原指数により動向をみる場合には前年同月比が主に使用されます。

#### (2) 季節調整及び季節調整済指数

季節調整とは、景気変動(生産の変動)をみるため、1年間の周期をもつ規則的な要素(四季の変化からなる自然要因、盆・正月などの社会的慣習、決算期などの商慣行の社会要因等)を調整することです。鉱工業生産指数の場合は、季節指数を算出し、それで原指数を除することにより季節調整を行います。季節調整を行った指数を「季節調整済指数」といい、季節調整を行うことによって前月との比較や景気変動を把握することができます。

#### (3) 寄与度

鉱工業全体の上昇または低下に対して、各業種がどれだけ影響を与えたものか示す値です。

#### (4) ウェイト

ウェイトは、個々の品目の鉱工業全体に占める重要度のことで、鉱工業全体を10,000.0とした構成比で示しています。ウェイトは付加価値額ウェイトで、経済センサス-活動調査(製造業)等を基礎に算出しています。

#### (5) 前年比

前年と当年を比較して求められる比率で、変化率で示しています。前年同期比、前月比、前年同月比も同様に算出します。

$$\text{前年比} = (\text{当年指数} - \text{前年指数}) / \text{前年指数} \times 100$$